

中庭のある家に暮らして約一〇年。「住むほどにますます家が好きになります」。



お気に入りの家具や雑貨に囲まれたリビング。東南アジアで使われていた枕木を取り寄せたフローリングは、歳月とともにその味わいを深めている。



グレーの外壁に緑が映える中庭。天井のスクリーンを通して、やわらかな陽光が降りそそぐ。夜は照明を少し落とし、ライトアップした中庭を眺めながらリビングで過ごすのがMさんの楽しみのひとつ。



右/トイレ、洗面、お風呂が一体となったスペース。洗面の鏡は、Mさんお気に入りの額縁に鏡をはめ込んで作ってもらった特注品。左/窓外に中庭を設けたバスルームでは、湯船に浸かると露天風呂気分を味わえる。天井のスピーカーから流れてくるお気に入りの音楽を耳に、くつろぎのひと時を楽しんでいる。



白が好きな長女のために、Mさんが自らフローリングを白色に塗り替えたシンプルな部屋。広いテラスでは、中庭とはちがった開放感が楽しめる。



右/リビングに置いていたテーブルを自分で改造したストックヤードなど、エントランスに足を踏み入れた瞬間からMさんのこだわりが感じられる。左/長男の部屋はジュエックボックスやレトロな飾りのアメリカン雑貨、古着などが並び、まるで雑貨店のよう。

「今でも時々部屋の写真を撮るほどに、家のすべてが大好き」。そう話すMさんが二〇〇二年に当邸を新築する際に望んでいたのは、「テーブルコーディネートに興味を生かせる家」だった。漠然としたイメージしか持っていなかったMさんは、東京などで人気の高いホテルやカフェ、美術館などにも足を運び、空間デザインはもちろん照明の使い方も参考にして、イメージを膨らませていった。さらに、雑誌などに掲載されていた家や雑貨などから、自分の好きなモノをスクラップブックに貼ってためていった。その内容は、幾度も打合せを重ねるうち、次第に方向性が統一されていったそう。

「この家を建てた当時はオープンデッキが流行っていましたが、「コムハウジング」の中庭のある家の見学会で初めてそれを目にした時、自分が自由に使える空間、人目を気にすることなく好きなことのできる空間というところに魅力を感じました」とMさん。十分でないながらも採光と、

させた邸内には、さまざまなこだわりが見受けられる。アメリカ製のシンプルな冷蔵庫に合わせて食器棚を造りつけにし、リビングのテレビは見えない時に収納できるよう工夫。「リモコン類が見えるのが好きではない」ため、お風呂は自動給湯ではなく蛇口をひねって湯を溜める昔ながらのタイプに。そのほか、ドアノブやスイッチ類のカバーなど細部にいたるまで、Mさんの好みや趣味が取り入れられている。さらに、リビングとバスルー

通り抜けていく風の心地よさも魅力のひとつ。住みはじめて五年が過ぎた頃、「夏場、カーテンのそよぎに涼をとる感覚」に心を惹かれ、周りから家の中が見えないのでそれまで使っていなかったレースカーテンを取り付けたそう。家族でパーベキューをしたり、友だちを招いてお茶を楽しんだり、「なにより、花や緑でコーディネートした中庭をリビングのソファに座って眺めるのが好き。庭でありながら、部屋の一部分といった感じですね」と、Mさんはうれしそうに笑みを浮かべた。



ハンドメイドスクラッチのテクスチャー仕上げの外壁は、オリジナルで作った塗りの道具を用いた左官職人が、ていねいに手作業して素朴な風合いを生み出したもの。

感性ある住まい やすらぎの住宅  
**com HOUSING** 50th ANNIVERSARY

岡山市北区十日市中町6-22  
☎ 0120-67-2102 fax.086-223-2103  
◆営/10:00~17:00  
◆休/水曜・祝日  
※オープン時間外もご連絡をいただければ相談に応じます。  
<http://www.comhousing.com>  
※「オセラ」掲載のバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

